

# 会えない今だからこそ 私たち精神保健福祉士に出来ること

昨今のコロナ渦で顔を合わせて話をする場、相談する場、研鑽の場がない、精神保健福祉士としての専門性、価値や倫理を点検することが出来ないと感じている方も多いと思います。

今回はコロナ渦での業務の工夫を共有し、1人でも出来る業務の点検法(さくらセット)を用いて、様々な状況下にあっても精神保健福祉士として成長し続けられるということと一緒に学んでみませんか。

日時: 3月13日(日) 13:30~17:00

開催方法: Zoomによるオンライン開催

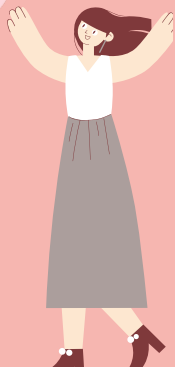
参加費: 1,000円(会員は無料)

申込先: [apsw.kikaku@gmail.com](mailto:apsw.kikaku@gmail.com)

締切: 3月7日(月)

企画: 青森県精神保健福祉士協会

対象: 青森県精神保健福祉士協会員、県内勤務の保健医療、障害福祉に携わる方



内容：①講義『地域や仲間とともに成長する精神保健福祉士になるために  
～私たちが高める専門性を考える～』  
講師：岡田 隆志 先生（福井県立大学准教授）

講師：岡田 隆志（おかだ たかし）先生 略歴

大学卒業後、埼玉県精神保健福祉相談員として精神保健福祉センター、保健所、本庁、県立病院等で勤務し、2020年より福井県立大学准教授として勤務。研究テーマは「地方自治体における地域精神保健福祉活動のあり方」、「精神保健福祉士を対象にした現任教育の仕組みづくり」。協会活動では「精神保健福祉士の資質向上推進委員会」委員長として、「精神保健福祉士のキャリアラダー」の開発に取り組んだ。他にもライフワークとして、精神障がい者フットサル活動を10年以上続けている。

内容：②グループワーク「さくらセットの活用方法」  
「コロナ渦での工夫やジレンマの共有」

【さくらセットについて】

さくらセットは日本精神保健福祉士協会HP

(<https://www.jamhsw.or.jp/u9oki/kensyu/sakura-set.html>)

からダウンロードできます。ぜひ、受講申込前に一度ご覧ください。

※QRコードからも読込できます。

